

ムーディーズによるアイルランドの格下げについて

大和証券投資信託委託株式会社

ムーディーズ・インベスターズ・サービス社(ムーディーズ)は7月12日(現地、以下同様)、アイルランドの自国通貨建て・外貨建て長期債務格付けを「Baa3」から投機的な水準である「Ba1」へ1段階格下げしました。ムーディーズは、「2013年末までの現在のEU(欧州連合)とIMF(国際通貨基金)による支援プログラムが終了した後も、追加の支援が必要となる可能性が増大しており、その前提として民間金融機関の関与が要求される可能性が高まっていること」を格下げの理由として挙げています。また、今後の見通しも「ネガティブ(弱含み)」としました。

この格下げについては、ある程度市場で予想されていたものといえます。ムーディーズは同国を4月15日に2段階格下げしており、この際に引き続き格下げ方向での見直しの対象とすることを示していました。今回は、格付け見直しの結論を出す一つの目安となる三か月経過を目前としたタイミングでの格下げとなります。また、ムーディーズは今回のアイルランドに先立って、6月1日にギリシャ、7月5日にポルトガルを、同じく投機的な水準へ格下げしています。どちらのケースにおいても、追加支援のプログラムにおいて民間金融機関の関与の可能性が高まったことがポイントとして挙げられており、両国と同様にEUとIMFから金融支援を受けるアイルランドについても同じ判断がなされた格好です。

その他の欧州周辺国についても緊張感が高まっています。ギリシャの第二次金融支援策がまとまらない中で、より債務残高の大きいイタリアにも混乱が波及しています。背景の一つには、EUがギリシャの債務について、債務再編をより強く意識し始めたとの見方があります。既にギリシャの第二次金融支援策においては民間金融機関の関与が確実視されており、ムーディーズが指摘するように、こうした方法はアイルランドを含む他の欧州高債務国にも広がってくる可能性があります。欧州周辺国の調達金利が高止まりする中で、EUには問題国の資金繰りを支援しつつ財政再建策を促すというこれまでのアプローチに加え、問題国の債務残高削減やユーロ圏各国による共同資金調達についてもさらなる議論を強いられる可能性があります。

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引によりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会: 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会